

平成31年3月吉日

放課後等デイサービス

アバンツァーレスポーツご利用者各位

(宮城県指定 第0450700372号)

放課後等デイサービス

アバンツァーレスポーツ

平成30年度 アバンツァーレスポーツの自己評価実施について(報告)

平成30年度も残すところ後、僅かとなってまいりました。皆様方にはご多様な時期とは思いますが、ご健勝のことと存じます。また、今年度もアバンツァーレスポーツの活動につきましては、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、過日ご協力の下、実施させていただきました、表記「平成30年度 アバンツァーレスポーツ自己評価」の結果と、今後の対応について、話し合いを持ちましたので、下記の通りご報告させていただきます。

記

1 平成30年度自己評価 保護者用

- ① 実施時期 平成31年1月
- ② 対象 アバンツァーレスポーツ利用者 42名
- ③ 回答数 33名/42名
- ④ アンケート結果 別紙「保護者等向け 放課後等デイサービス評価表」及び結果グラフ
- ⑤ 対応について話し合い 平成31年2月8日(金) 話し合いを職員で行う。
- ⑥ 3月保護者へ通知する。
- ⑦ HPに掲載する。

2 平成30年度自己評価 事業者用

- ① 実施時期 平成30年2月
- ② 対象 放課後等デイサービス職員(正職員、臨時職員 計8名)
- ③ 回答数 8名/8名
- ④ アンケート結果 別紙「事業者向け 放課後等デイサービス評価表」及び結果グラフ
- ⑤ 対応について話し合い 平成31年2月22日
- ⑥ 3月保護者に通知する。
- ⑦ HPに掲載する。

3 自己評価について

- ① 保護者向け自己評価について
 - ・ 多くの項目で「はい」の回答をいただくことができた。
 - ・ 「どちらとも言えない」「いいえ」を合わせた項目で特に評価が低かったのは、(5)の「障害のない子供たちとの交流」の項目が79%、(14)の「非常災害に備えての訓練」の項目が39%、

(13)「緊急時マニュアルの周知」の項目が30%となっていた。

- ・ 記述内容では、「土曜日への変更が急ではなかったか?」「連絡帳の返事が遅れることがある。」との記述があった。
- 結果を受けて
 - ： マイナスが大きかった「障害のない子どもたちとの交流」など、昨年も課題として出されたが、活動の内容を考えると、イベントは企画し実施したが、地域の障害者が参加するにとどまった。
 - ： 緊急時のマニュアルの周知については昨年度から、利用者への「緊急時対応マニュアル」の配布など行っているが、まだ、周知までは至らなかったようである。
 - ： 同じ災害への対応で、避難訓練の実施についても、評価は低かったが、子どもたちの経験より、職員の経験を優先したこともあり、再考することにした。
 - ： 記述の項目は、今後も十分気を付けなければならないと感じる内容であった。

② 事業者向け個人評価

- ・ 「はい」と「どちらともいえない」という項目を合わせると、ほとんどの項目で、80%近くまで行っている。
- ・ 「はい」のみで、50%を切る項目は、(3)設備のバリアフリー化、(7)の外部の第三者による評価、(22)医療的ケアの必要な児童への配慮、(29)保護者へのペアレントトレーニングの実施、(41)のヒアリハット集の作成と活用
- ・ 「いいえ」と回答があった項目は少ないのだが、(3)事務所のバリアフリー化、(4)事業改善のためのPDCAサイクルの実施、(10)の標準化されたアセスメントシートの使用、(22)医療的ケアの必要な子への対応、(25)外部専門機関の助言を受けているか、がそれぞれ1ポイントの記入があった。
- ・ (7)の第三者の外部評価とその活用については、「いいえ」は2ポイントであった。

○ 結果を受けて

- ・ おおむね共通理解の下に実施されていると感じられる。
- ・ この施設で実施していない項目もあり、表記の結果になったと考えられる。
- ・ 第三者の評価の活用や、ヒアリハット集の作成と活用、保護者へのペアレントトレーニングの実施など、次年度に向けての再考が必要な部分も感じられた。

4 今後の対応

○ 保護者からの自己評価について

- ・ 緊急時マニュアルについては、年度の初めに、再度配布をしながら周知を図っていききたい。
- ・ 避難訓練の実施については、現在年2回各1日の実施を、年2回の「避難訓練週間」と設けその期間内で人間的な余裕を見ながら実施の回数を各期間2回と増やしていききたい。
- ・ 連絡帳への記入に関しては、即答できない場合にはその旨を記入するなど、より丁寧な対応を心がけていききたい。

○ 事業者の評価について

- ・ 項目により削除なども考えたが、同じ内容でアンケートを実施していききたいこともあり、このま

まのアンケートを続けていきたい。

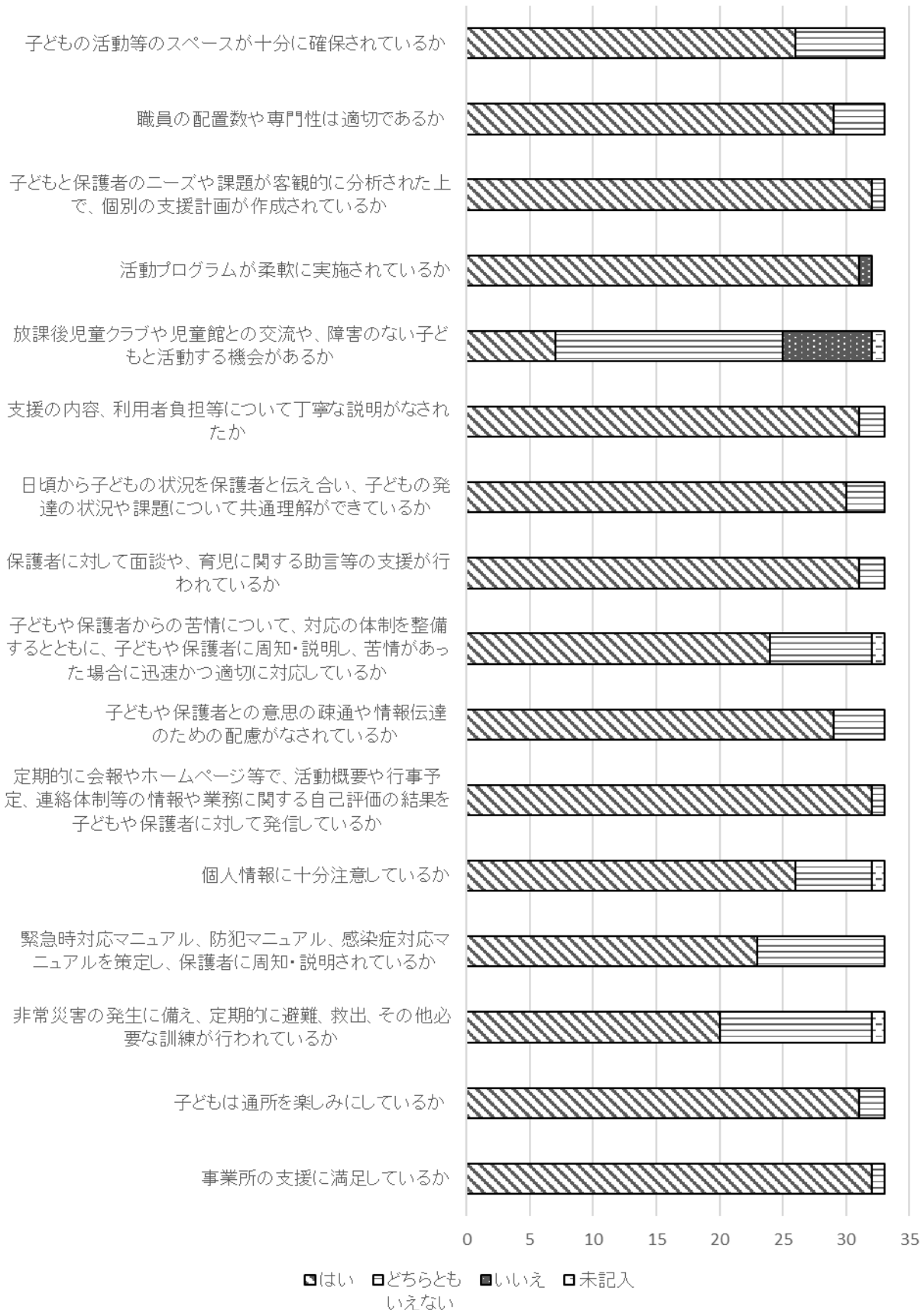
- ・ 事業改善のための PDCA サイクルの実施など、事業者一人一人の意見がより聞けるような場を月 1 回行っているケース会などを活用して増やしていきたい。
- ・ ペアレントトレーニング、外部の研修などまだまだ知っていかなければならない内容について、様々な研修を受講しながら事業所内で共通理解を図るなど計画していきたい。

5 まとめ

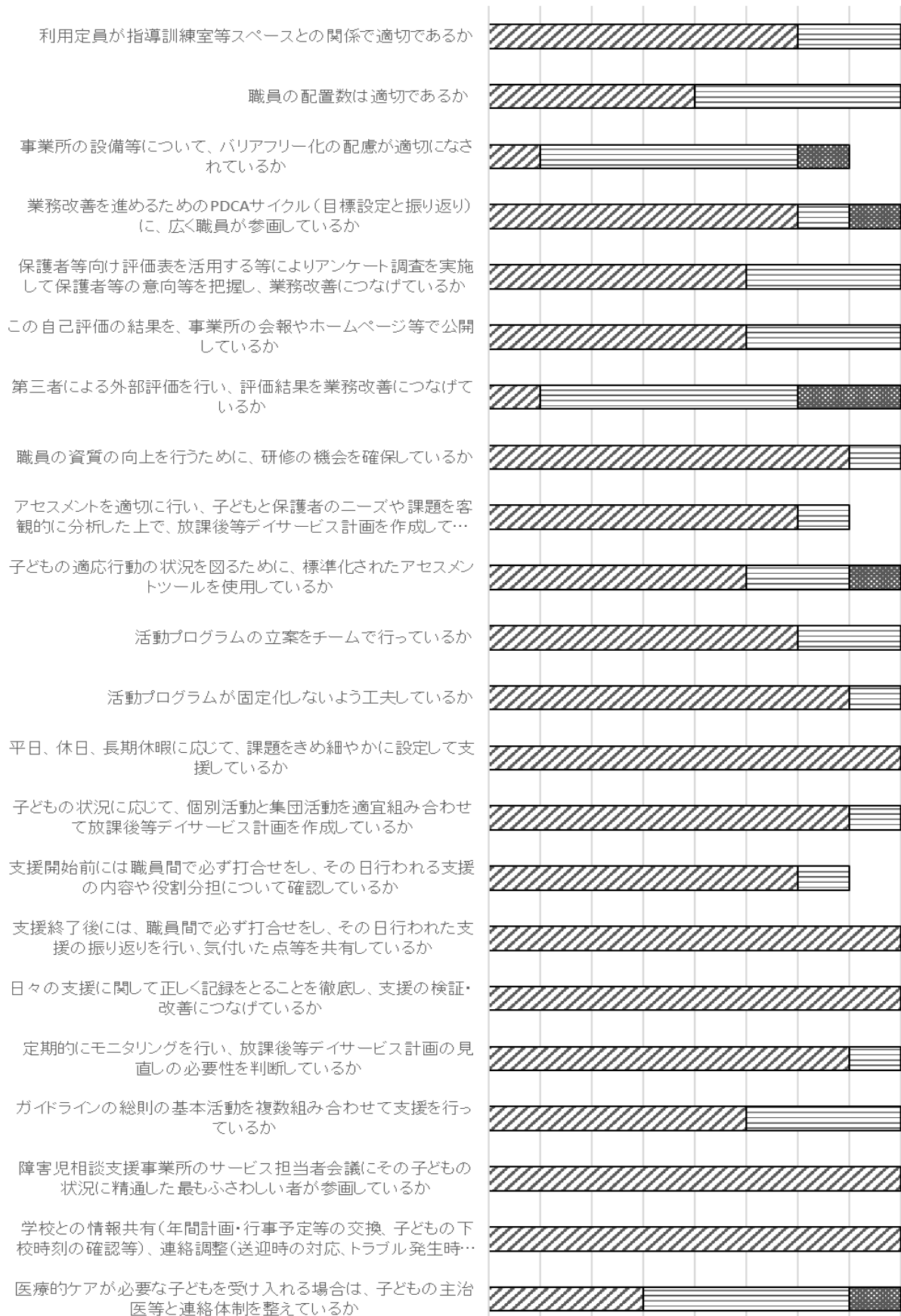
今回も、多くの保護者の皆様や、指導員の方々にアンケートのご協力をいただき、ありがとうございました。

多くの内容に賛同をいただけたことで、開設 6 年目を迎える本事業所の活動により自信を持って取り組んでまいります。また、昨年度と同じように評価の低かった項目もあり、これでいいという慢心を排し、前向きに進んでいきたいと思っておりますので、今後ともご理解とご協力、そしてご指導をよろしくお願いいたします。

自己評価(保護者用)



自己評価(事業者用)



就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報…

児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速か…

定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

個人情報に十分注意しているか

障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

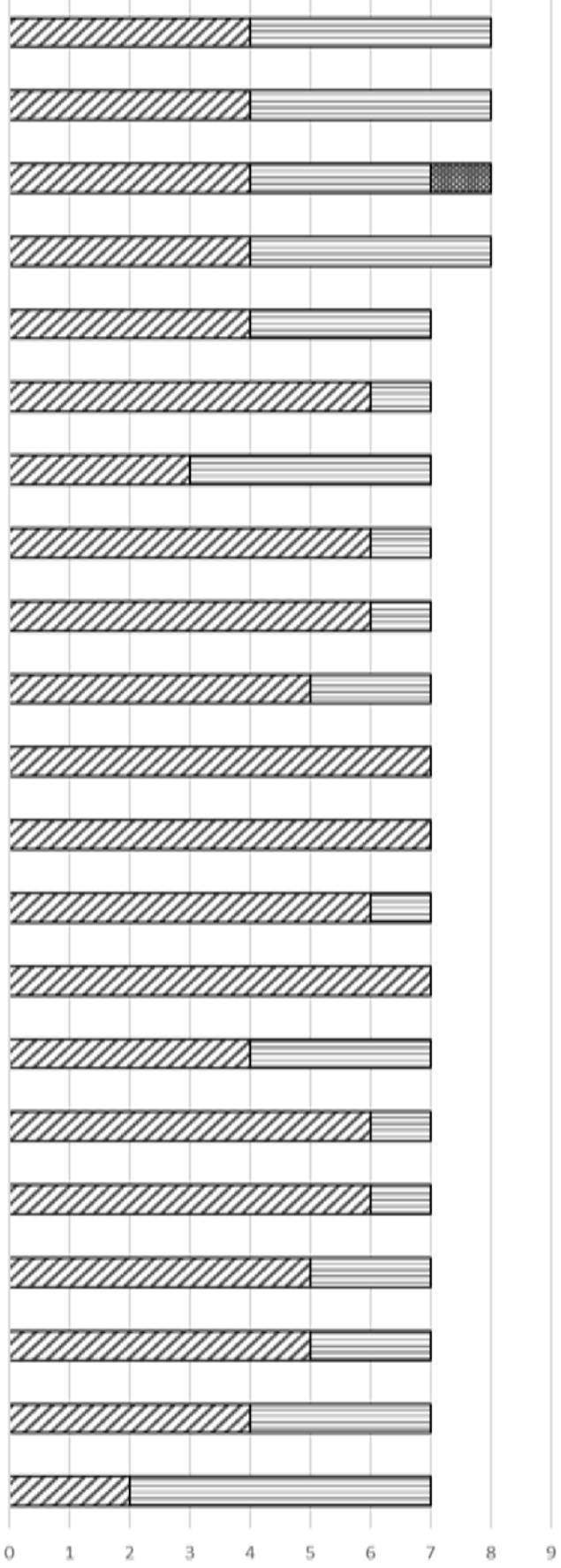
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得…

食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



はい
 どちらともいえない
 いいえ